

ひと言 コラム

新製焼 と 本業焼

新製焼

重要有形民俗文化財
染付山水図水指
19世紀前期



本業焼

重要有形民俗文化財
笹文石皿
18世紀後期
～19世紀前期



江戸時代の後期にはじまった磁器生産は、民吉の伝えた磁器製法によって急速に発展しました。こうした中、新しい仕事という意味で磁器は「新製焼」と称されました。一方、これまで長きにわたってつくられ続けた陶器は、瀬戸本来の仕事という意味で「本業焼」と呼び分けるようになりました。

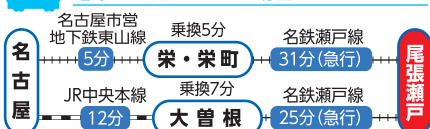
1000年以上の歴史を誇る せとものまち 陶都・瀬戸

愛知県瀬戸市は、名古屋市の北東約20kmに位置し、周囲を標高100～300mの小高い山々に囲まれ、気候も温暖なまちです。

良質で豊富な陶土に恵まれ、瀬戸市で焼かれるやきものは、「せともの」というやきものの代名詞として日本のみならず、世界の人々に知られるようになりました。先人たちは新しい技術や文化を柔軟に取り入れ、「せとものまち」を発展させてきました。

先人たちより引き継がれてきた「歴史」「伝統」「文化」、そして豊かな「自然」が、今もなお、瀬戸の暮らしに息づいています。

電車でお越しになる場合

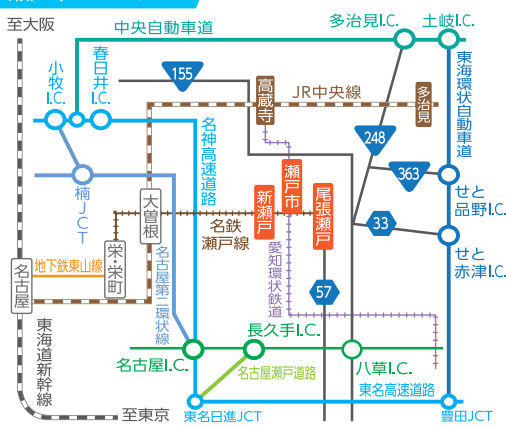


高蔵寺、岡崎方面からは愛知環状鉄道利用、瀬戸市駅下車、名鉄瀬戸線に乗り換えです。

お車でお越しになる場合

- 東海環状自動車道 せと赤津I.C.から(約10分)
- 東海環状自動車道 せと品野I.C.から(約15分)
- 名古屋瀬戸道路 長久手I.C. (東名高速道路日進JCT経由)から(約15分)

瀬戸市へのアクセス



問い合わせ先

瀬戸市文化課
TEL:0561-84-1093 FAX:0561-85-0415
〒489-0884 愛知県瀬戸市西次町113-3
(瀬戸市文化センター内)



このガイドマップは、歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業(文化芸術振興費補助金)を受けて作成しています。

日本遺産のまち瀬戸市
瀬戸を知る
テーマ別ガイド②

のんびりくらし
せとマップ

磁祖ゆがりの地を 巡るコース

